

これまでの参加人数(第99回まで)13,646名

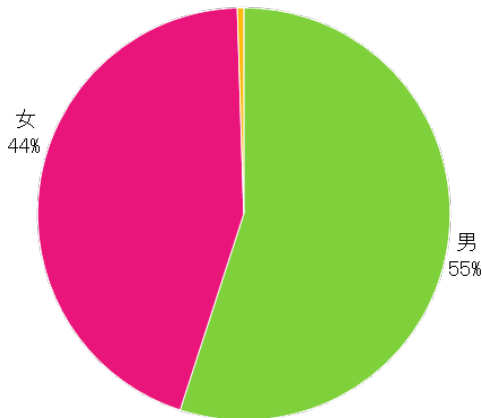
第99回 JAXA タウンミーティング in 宮崎科学技術館 (宮崎県宮崎市 2013年10月20日開催)開催報告

2013年10月20日、公益財団法人 宮崎文化振興協会 宮崎科学技術館のご協力により、第99回 JAXA タウンミーティング in 宮崎科学技術館「宇宙へのあこがれ 未来への挑戦」を開催し、206名の方にお越しいただきました。

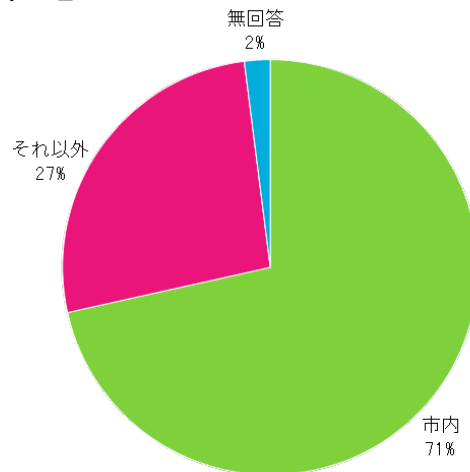
今回のタウンミーティングでは、川口シニアフェローと森田イpsilonプロジェクトマネージャから話題提供を行い、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

アンケートレポート集計結果(有効回答数:200)

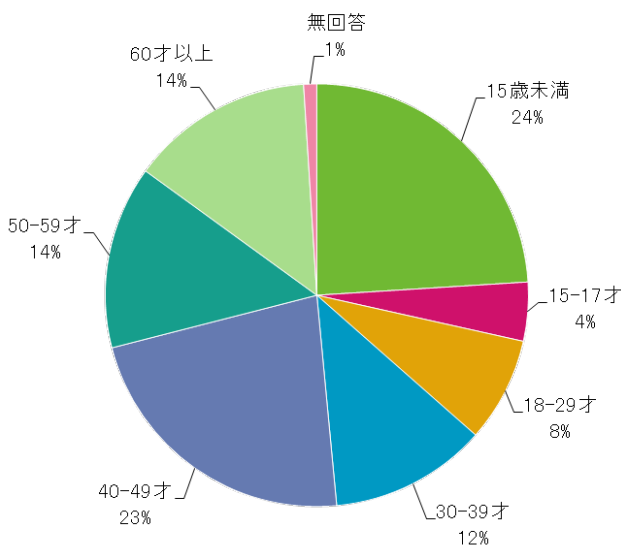
1. 性別



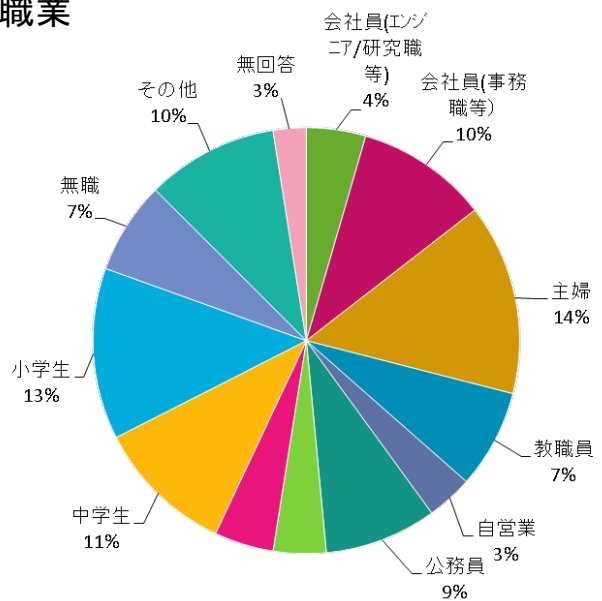
2. 居住地



3. 年齢



4. 職業



5. 今回のタウンミーティングの話題に関連して、ご意見をお聞かせください(抜粋)。

イプシロンロケットの挑戦へ

- ・ イプシロンが打ち上げられると知ったのは 6 月くらいでした。初めは「新しいロケット」くらいにしか思いませんでしたが、よくよく調べてみると「固体燃料」「宇宙望遠鏡」「パソコン 2 台」などの言葉が出てきて、なんとなく「へえ～」と思ったくらいで、それらの言葉がなかなか繋がらないままでした。しかし、この機会によってすべてがつながり、イプシロンについて改めて理解できたと感じています。
- ・ ロケット開発で得た結果をぜひ、私たちの生活に生かしてほしいと思います。質問の受け答えもとても分かりやすく、知らないことをたくさん知れた。今後もどんどん研究を発展させていってほしい。

「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙飛行～その 7 年間の歩み

- ・ 川口先生のお話に変感銘を受けました。できる理由を探していくというのが、宇宙開発を進めていく大前提となることですが、実は私たちの生活の中でも大切なことだと思います。私たちはどこかで「できない理由」を多く探してしまい、チャレンジ精神を自ら失っていると思います。宇宙に挑戦していくみなさまのような気持ちを持って日々生きていきたいと思えます。
- ・ とても面白く聞きました。時間ももっとほしいくらいでした。JAXA の役割、国民としての役割などを感じることができました。今後の日本の立つべき姿勢、そのために私たちができること、未来のために次の世代をきちんと育てることだと思いました。子供とともに今日参加できてよかったです。

6. 自由記述(抜粋)

■ タウンミーティングに関する記述

- ・ 今回のタウンミーティングのような、JAXA などの努力によって宇宙航空という分野は科学コミュニケーションという点でとても私たち市民に親しみや理解があるように思います。技術が社会に還元されるかどうかは基礎研究にはあまり重要ではないかもしれませんが、知識や情報が市民に還元されるかどうかは基礎研究、応用研究にかかわらず重要なことだと思います。このような風潮がもっとほかの分野に広がればいいなと感じました。

